櫻井桃華

性に目覚めた

The little rose
drowned in lust.

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

性に目ざめた櫻井桃華

The little rose
drowned in lust.

櫻井桃華
俺が担当しているアイドルだ

Lesson Studio
そして
貸し出し用の
練習着を
桃華に着せたのは
いいのだが…
プロデューサー
ちゃま?
どうか
なさいまして?
やはり
高校生くらいの子が多い
うちの事務所のものは
まだ中学生の
桃華の体には
大きすぎたらしい
動くたびに
未成熟な桃華の体が
露になり
俺の頭の中が
いっぱいになる

あ…あぁ
そうだな…
ちょっと
服のサイズが
合ってなくて
動きづらそう…
かな？
！
そうですの！
さすが
プロデューサー
ちゃま！
何でもお見通し
ですのね！
ま…
まぁね…
桃華は気付いて
いないのか？
それとも
自分の性に対して
自覚がないのか？
俺はそんな
世間知らずの
お嬢様が
どう感じて
いるのか
確かめてみる
ことにした
ゴクッ…
服…
脱いじゃおうか
俺の
目の前で
汗で濡れた
練習着を
脱ぎ始めた
すると桃華は
コクリと頷き

ふぅ！
動きやすくなりました♥
すらっ
今まで妄想の中でしかなかった桃華の全てが
部屋の照明で明るく照らされる
まだ大して膨らんではいないものの男の子のそれとは明らかに違う
ツンと起った女の子の胸
くびれのない腰まわり
薄くて小さい下半身
そしてまだ幼さの残る
ぴ
ちっ♥
中学生のオマンコ
柔らかな曲線でぷっくりと張り出し
ぷくっ
キュッ
深い縦スジを作り出しているのが見てとれる

よし…それじゃ改めて
なで なで
ストレッチで体をほぐしていこうな
クローズドな空間で今まさに
裸の桃華と二人きり…
当然のように俺のレッスンはエスカレートしていった
くいっ
ぷくっ
ゆっくりと股を大きく開き
深い縦スジの奥に隠された小さな膣穴
尿道口
恥ずかしそうにキュッと窄まった可愛らしい尻穴
そして
ぴょこっ
ヒクッ ヒクッ
嘗め回すような男の視線を感じ
包皮からひょっこりと顔を出す
桃華の幼いクリトリス
それらが改めて俺の前に晒される
プロデューサーちゃま？
こうでよろしくて？
ぱかっ
あぁ いいぞ桃華 その調子
？
俺は桃華の体の隅々まで
目でじっくりと犯していった

そうして
桃華の
未熟な裸体は
徐々に
汗ばんでいき…
んぐっ
んんっ……
んっ…
てらてらと光る
幼い秘部が
白く透き通る
股間に深く
刻まれた
縦スジの
立体感を
際立たせる
目の前の
少女の
今まさに
目ざめつつある
性に
俺は本能を
抑えきれなくなり
ついには
柔らかく
濡れた
小さい
割れ目へ
指を
這わせた
08
最初こそは
くすぐったそうに
していたが
さすさす
くすぐったいですわ♡
はぁ
はぁ
次第に
その反応は
違うものと
なり
その日
桃華は
俺の前で
ビクッ
プシャアアア
ビクッ
産まれて初めての
アクメを迎えた

それからは
社会勉強と
称して
桃華を俺の部屋で
預かることにした
あ…♥
プロデューサー
ちゃま…♥
はーい♥
おかえり
なさいませ…♥
いつでも
犯せるように
ここでは裸で
過ごすよう
躾けている
も…
もう少しで
わたくし
イきますから
ご覧に
なって…♥
ハァ…ハァ…
今では
こうして
俺の前でも
平然と
オナニーを
するくらいにまで
成長してくれた
くちゅくちゅくちゅ
くちっ
くちっ
くちっ
俺が
桃華の痴態に
興味を示すと
桃華は
オナニーの
指使いや
膣口
ケツ穴
クリトリス
アクメする
瞬間
ふふ…♥
プロデューサー
ちゃま…♥
良く視姦
まして…?♥
それらが
よく見えるよう
大きく足を開き
来るべき
時に備え
オマンコを
高く突き出した
ドキ
ドキ
ドキ
ぞく
そして桃華は
仕上げとばかりに
すぐ
目の前に
迫った
強烈な
アクメへと
至るため
そして
とても
学生とは
思えない
あ…
イく…♥
イきますわ…♥
あ…♥
あ…♥
あ…♥
完全に
トロけた表情を
浮かべながら
クリトリスの
裏側あたりを
激しくかき回す
ぐりぐりぐり
ぐりぐり
ぽー
ぐちぐち
ぐちぐち
ぐちぐち

桃華の甘酸っぱい
オナニーショーに満足した俺は
オナニーの興奮冷めやらぬ12歳の少女へ
はっ
はっ
はっ
『お前の粗相(そそう)でこうなってしまったんだぞ』
ーと
今にも果ててしまいそうなほど
隆々と勃起した大人のチンポを見せつける
びくっ
びくっ
すると桃華の
淫欲に染まった視線が
じわりと熱を帯びる

桃華はまず舌先で
亀頭を舐め回し
尿道から滲む
先走りを綺麗にする
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
ぷろでゅっ…♡
はっ…♡
プロデューサーちゃまのっ…♡
これから自分を
未知のアクメへと導いてくれる
チンポへの礼儀として
俺が最初に教えこんだことだ

学生の甘い唾液で
ヌルヌルになった亀頭
はっ♡
はっ♡
それを確認し
おふッ…♡
ほッ…♡
おちんぽっ…♡
プロデューサーちゃまのォ…ッ♡
おひんぽッ…♡
ほふッ…♡
改めて(あらた)桃華は
口全体で吸い付くように
チンポに奉仕を始める

深く
喉奥にまで挿入し
味わうように
ずっ
ずっ
ずっ
ぢゅるるっっっ
んぶッ…♡
ゆっくり
ゆっくり
ぐッ♡
ぐッ♡
ぐッ♡
抽送を繰り返す

そして
口に
チンポを
咥えたまま
反転し
俺の
眼前に
くるっ
ぐるる
んぐ
小学
六年生の
少女の
生尻が
差し出される
んぐ
足を
開いても
なお
恥ずかしそうに
ピッチリと
閉じた
いじらしい
小学生の
オマンコ
ぱく
ぱく
それとは
反対に
まだ羞恥心の
芽生えて
いない
呼吸のたびに
緩んでは開く
元気いっぱいの
小さい尻穴
んぐっ
ずりゅうっ

『こうすれば
より大量の精が
吐き出される』
これまで
性行為を重ねた
経験から
学んでいる
のだろう
にゅぷぷぷっ
きゅっ
俺は
桃華の
小さく狭い
口内と
目の前に
広がる
オカズの
数々を
堪能する
んっ
んぷっ

はち切れ
そうになった
亀頭から
射精の前兆を
感じ取ると
桃華は
目の色を変え
根元まで深く
咥えなおす
はむ…
ぶ…
そうして
口内が精液で
満たされると
ちょろろろ…
桃華は
喜びのあまり
小便を漏らし
小さい体を
持ち上げても
なお吸いついて
離さないほどの
強烈な
バキュームで
俺を娯しませた
どぴっ!
どぴっ!
上手に
奉仕できた
ご褒美に
縦スジから
ひょっこりと
顔を出している
今にも
弾けそうな
クリトリスを
指で摘まみ
あげてやる
ぐにぃ
ぴくっ
すると桃華は
まるで発情した
豚のような声を
出して喜び
ぶごっ
ぶごご
ぶごぉ…
アクメ
しながら
そのまま
気を失った
ぶごぉー
ぴくっ

今度は
ランドセルを
背負わせながら
犯す
桃華が
学校に通う姿を
想像しながらの
セックスは
実に
背徳的で
何度
繰り返しても
飽きることが
ない
パン
パン
パン
まるで
桃華と
寄り道して
学校の
帰りに
セックスで
遊んでいる
ような感覚
性の快楽で
白濁に
塗り潰され
アクメの期待に
瞳を輝かせる
そんな幼い姿を
見るたびに
射精しても
射精しても
尽きることなく
チンポが
勃起し
そして
その脈動を
膣内から
感じ取るや否や
桃華は
淫らに
体を
くねらせ
性の悦(よろこ)びを
謳歌する

その日は
一日中
桃華を犯して
遊んだ
俺は
何度も何度も
尽きることなく
桃華の肉穴に
射精し
桃華は
それに
答えるかの
ように
小便を派手に
撒き散らした
か細い肢体を
がくがくと
悦びに震わせ
おびびびっ
びくっ
びくっ
びく

共同生活を続けていくうち
桃華は昔のような大人びた姿を俺に見せることはなくなり
一緒によく遊ぶようになった
はーっ♡
プロデューサーちゃまぁ♥
はーっ♡
プロデューサーちゃまぁ〜♥
はーっ♡
俺の視線をオカズにした可憐な少女の密着公開オナニー遊び
桃華は俺が喜んでいる様子を見ながら嬉しそうにオマンコを弄くりまわす
はーっ♡
はーっ♡
そんな微笑ましい性の遊戯を眺めているうち
先走りを伴った俺のチンポは
ぴちっ♡
ひょいっ
桃華の雌穴を求め大きく隆起する
きゃんっ♡
ぐぐぐっ
俺は恥じらいもせず人前でオナニーして遊ぶような
可愛らしいオナホ少女を両手で抱え上げ
ふーっ♡
ふーっ♡
ゆきっ
垂直にそそり立ったチンポで
わく…あ♡
ゆっくりと味わうように小さい肉穴を押し拡げる
イ♡
イく♡
イクッ♡
わく
わく
わく
ぐちり
ふゥーッ♡
ジュ…ンニュ…っ
膣奥へと突き当たると
ぐちゅ♡
水気を含んだ肉音とともに
キュッと可愛らしく膣内が締まる
きゅっ♡
きゃんっ♡
にゅぐぐぐ……
そのたびに桃華は悦びに身を震わせ
ブッ…!
ウグッ…♡
ブブブ……ッ♡
シャッ
ドロォッ…
小便を撒き散らす

奉仕することの悦び…
育ちの良いお嬢様として今までの尽くされる立場から一転し
犯され
使われ
そんな扱いを受け続けるうち
ずぐぐぐっ
はッ
はッ
はッ
イク♡
ぐり
ぐり
イク♡
イクイクイク♡
小さな体に備わった
マゾ性癖が開花した
果ててなお小刻みに痙攣を繰り返す
桃華の幼い膣穴は
貪欲なまでに精液を吸い上げ
ぬちちちち…
イッ♡
イクッ♡
イクッ♡
わく
わく
わく
12歳の小さな胎を
ズブブウウッ
満たしていく
イクイクイクイクイクッ
ブあああ〜〜ッ
ビク
ビク
ビク

少女の本能に答えるように
俺は自らの獣欲の赴くまま
ゴボッ♡
ブッ♡ブッ♡
どっちゅ
どっちゅ
白く薄い肌を
膣内から容赦なく
ブーーッ
何度も突き上げる

初めて出会ったときの
はにかむようなあどけない笑顔
そして今の
ボッ♡
イクッ♡
イクイクッ♡
イクッ♡
…ぼっ♡
あッ…♡
あーー…♡
ぐちッ
ぐに
ぐに
胎(はら)の中のチンポに意識を集中し
快楽に酔いしれる雌の顔
ドクッ
ドクッ

その全てが愛おしく
俺は最後の一滴まで
イッ♡
ブビュルウウッ
イグッ♡
イグララ♡
またぁっ♡
精液の抽送を止めることはなかった

そしてようやく
桃華の膣内へ
ぶぴゅッ
全てを射精しきると
桃華は意識を失いつつも
小学生の狭い膣から引き抜いた
俺のチンポへ舌を這わせた
ふ〜…♡
ふ〜…♡
レロ…
レロ…
すでに体が覚えている性への奉仕を
雌の本能による飽くなき快楽を
ぴく…
ぴく…
完全に意識を失うその瞬間まで
ぴく…
繰り返した

そうして桃華の穴で遊び終わったら
ぽーっ
風呂場で綺麗に洗う
まだ小さい膣口に指を突っ込み
膣壁をなぞるように大きくかき回す
桃華はそれを
はーっ♡
はーっ♡
ぼーっとした様子で眺め
粘っこい涎を垂らしながら
快楽を貪るのに夢中になっている
にゅくっ
にゅくっ
ぐいっ
ぶるっ
ぶぅ…♡
お？またおしっこか？
おしっこ出す時は
俺に言うよう教えただろ桃華
ぶ…♡
よいしょっと
んぁ…♡
あー…♡
ちょろろろろっ
ぱ
かっ♡
たぱっ
たぱっ
たぱっ
ぶッ…♡
ぶッ♡
あ～またイってる…♡
ぶンッ♡
ビクッ
ビクッ
ずっと指でホジホジしてたから
ぎゅうぎゅうに押し拡げられるオマンコの感覚
恋しくなっちゃったかな
こうして俺と桃華の性生活は
これからも続いていくー
おしっこしてる桃華視姦てたら
また勃ってきちゃったじゃないか
ほら桃華
欲しいのあげるよ
オマンコ穴拡げて♡
ぶ…♡
ジョロロロッ♡

性に目ざめた櫻井桃華

The little rose
drowned in lust.

あとがき

白田太です。

今回は桃華の本になりました。
桃華は髪型もキャラも初期と今とでは
だいぶ違う部類の子なので似せるのが難しかったです。
一応ゲーム内で見られる髪型やコスチュームを
それとなく楽しめるプレイ内容にしてみました。
お楽しみ頂けたなら嬉しいです。

それと、一部のサマーマドモアゼル好きの紳士の皆様
すみません。自然な感じで入れられそうになかったので
カットになってしまいました。
描きたかったんですけどね……。

それではまた次の本でお会いしましょう。
ではでは。

…あとtwitterのアカウントが凍りました！
今これ読んでて前のアカウントを
フォローしてたよって人はフォローしてね！

誌名：性に目ざめた櫻井桃華
発行日： 2020/11/23

著者：白田太
homepage:http://wwheel.blog53.fc2.com/
mail:sirodai@hkg.odn.ne.jp
twitter:shirotadai （凍結中）
wwshirota

印刷：ねこのしっぽ様

※18歳未満の方の購入及び閲覧、無断転載
アップロード等を禁じます。

waterwheel